

北海道内の居住地域にかかわらない、道内各地域に存在する冬季競技の年代別トップアスリート・高い競技能力をもつアスリートに対してスポーツ医・科学支援をするための道内機関・施設・人材の共同体であり、その体制構築のための組織



～ NEWSLETTER Vol.2 2024年1月19日 配信 ～

◆高校部活動スピードスケート女子選手／スポーツ医・科学セミナー 於：十勝オーバル

本コンソーシアム主催事業として令和5年11月26日（日）に十勝地域・高校女子スピードスケート選手・指導者22名を対象にスポーツ医科学セミナーを実施しました。ジュニア年代層への医科学支援の啓発や支援モデルの確立等を主な目的として、専門委員である渡邊耕太先生、蜂谷愛先生に加え、地域中核拠点である帯広協会病院 産婦人科の杉田奈穂子先生にご講演いただきました。最後に北海道スポーツ協会 酒井隆事務局長より、スポーツ庁からの委託事業についてご説明いただき閉会致しました。



《渡邊耕太先生》



《参加選手・指導者》



《蜂谷愛先生・杉田奈穂子先生》



《酒井隆事務局長》

北海道のような地理的広域特性の中で、地域と中央の各拠点間を有機的に結んだ連携形態の構築を目指した事業でもあるため、今回の実施を経てさらなる可能性の探求を継続していきます。例えば、ICTの活用方法、アスリート支援の実施方法として地域拠点が主催となり中央拠点が様々なバックアップを行うような開催方式などが挙げられています。

一方、現場での課題としては、選手が個別事情に関する質疑を集団セミナーの中では発言できない点が挙げられ、フォローアップ体制の構築など、解決に向け継続した取組が必要と考えております。